

2022年3月期 第2四半期 連結決算 説明資料



2021年10月29日
東邦ガス株式会社

目 次



- 1. 2022年3月期 第2四半期連結決算の概要・・・・・・3
- 2. 2022年3月期 連結決算の通期見通し・・・・・・9
- ＜参考1＞「カーボンニュートラルへの挑戦」に関する
最近の取り組み事例・・・・・・・・・・15
- ＜参考2＞ 自己株式の取得・・・・・・・・・・16
- ＜参考3＞ 中期経営計画目標の進捗・・・・・・17

本資料における業績予想及び将来の予測に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、さまざまな要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

1. 2022年3月期 第2四半期連結決算の概要

(1) まとめ



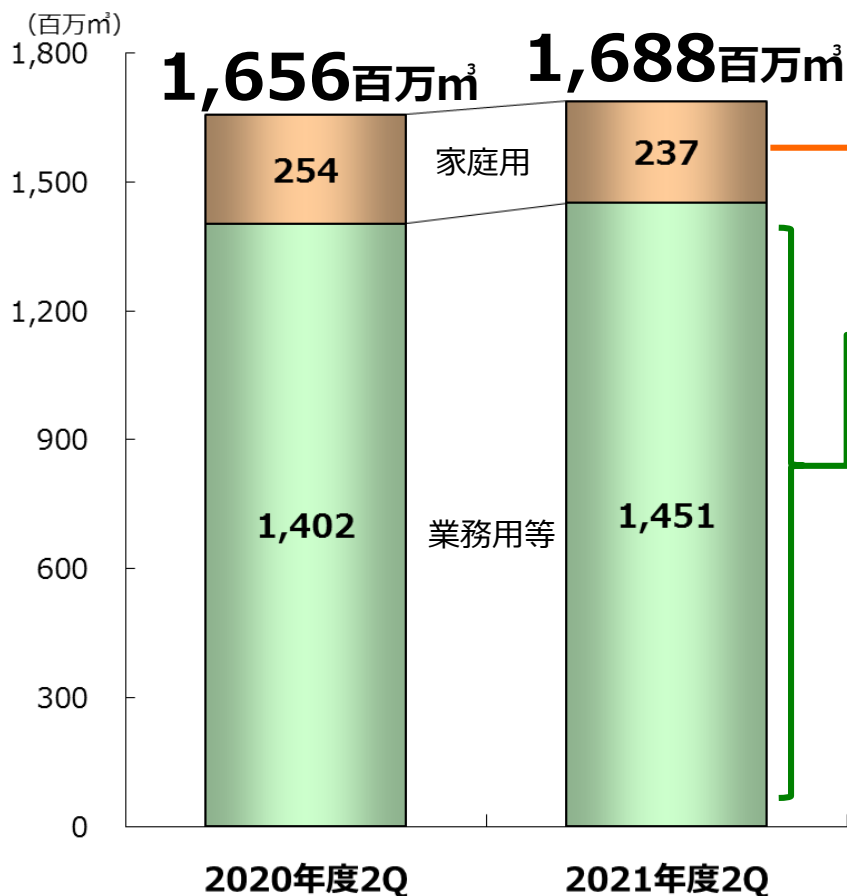
- 都市ガス販売量は1,688百万m³、対前年同期1.9%増
LPG販売量は214千トン、同8.0%増
電力販売量は945百万kWh、同36.2%増
- 売上高は2,078億円、対前年同期2.6%増
経常利益は41億円、同74.0%減

1. 2022年3月期 第2四半期連結決算の概要

(2) お客さま数・販売量



取付メーター数 2,521千件 2,543千件 (+0.9%)



都市ガス

+32百万m³ +1.9%

家庭用

△17百万m³ △6.5%

春先の高気温による給湯・暖房需要の減少など

業務用等

48百万m³ +3.4%

お客さま先設備の稼働増など

L P G

お客さま数※ 602千件 : +10千件 (+1.7%)

※配送受託件数含む

販売量 214千トン : +16千トン (+8.0%)

電気

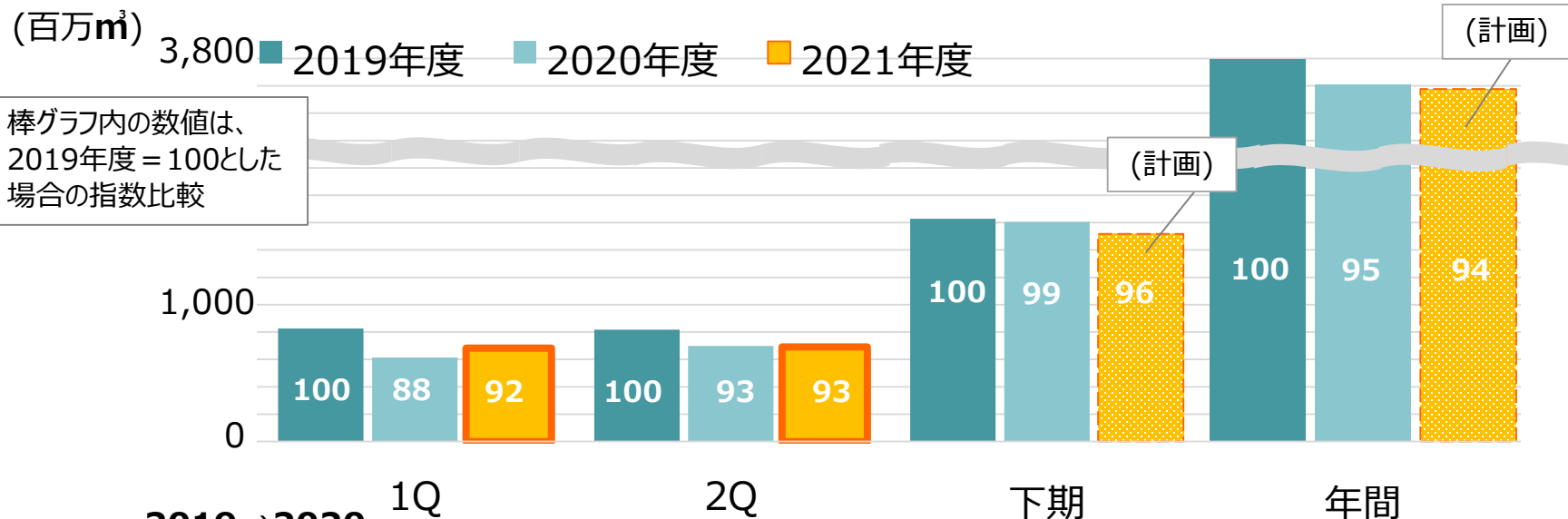
お客さま数 474千件 : +83千件 (+21.2%)

販売量 945百万kWh : +251百万kWh (+36.2%)

平均気温	23.3℃	22.9℃	△0.4℃
------	-------	-------	-------

↳ 2021年度月別平均気温(対前年) : 4月+1.8℃、5月△1.1℃、6月△1.2℃、7月+2.0℃、8月△2.5℃、9月△1.3℃

1. 2022年3月期 第2四半期連結決算の概要 (参考) 直近3力年の都市ガス販売量の推移



2019⇒2020

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間
家庭用	+0.3%	+0.9%	△1.2%	+6.0%	+2.3%
業務用等	△14.4%	△7.3%	△4.0%	+0.1%	△6.3%
合計	△11.7%	△6.5%	△3.6%	+1.5%	△4.8%

2020⇒2021

	1Q	2Q	3Q	4Q	年間 (計画)
家庭用	△8.4%	△2.8%			△3.2%
業務用等	+7.8%	△0.2%			△0.5%
合計	+4.4%	△0.4%			△0.9%

上期△9.1%

下期△0.8%

上期+1.9%

1. 2022年3月期 第2四半期連結決算の概要

(3) 収支状況



単位：億円

	2022.3期 2Q	2021.3期 2Q	増減	増減率
売上高	2,078	2,026	51	2.6%
売上原価	1,435	1,245	189	15.2%
供給販売費 一般管理費	615	632	△ 17	△ 2.7%
経常利益	41	161	△ 119	△ 74.0%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	29	117	△ 88	△ 75.1%

	2022.3期 2Q	2021.3期 2Q	対前年 同四半期比較
原油価格（全日本CIF）	70.3 ドル/バレル	36.5 ドル/バレル	33.8ドル高
為替レート（TTM）	109.8 円/ドル	106.9 円/ドル	2.9 円安

1. 2022年3月期 第2四半期連結決算の概要

(4) 経常利益 増減要因 (対前年同期)

経常利益 (161億円⇒41億円) △ 119億円

■ **ガス販売量の影響** △ **5億円**

■ **スライドタイムラグの影響** △ **225億円**

(2021.3期2Q + 130億円 ⇒ 2022.3期2Q △95億円)

■ **原材料在庫による受払差の影響** + **75億円**

(2021.3期2Q △50億円 ⇒ 2022.3期2Q + 25億円)

■ **固定費の減等** + **36億円**

1. 2022年3月期 第2四半期連結決算の概要

(5) 財政状況



単位：億円

	2022.3期 2Q	2021.3期	増減		2022.3期 2Q	2021.3期 2Q	増減
総資産	5,939	6,018	△79	営業C F	53	364	△311
純資産	3,681	3,594	86	投資C F	△256	△193	△63
自己資本 比率	62.0%	59.7%	2.3 ポイント	(F C F)	(△203)	(171)	(△375)
有利子負債	1,297	1,299	△1	財務C F	△51	△51	0
				現預金の 増減額	△254	119	△374
				期末現預金 残高	251	459	△208
				設備投資	167	153	14
				減価償却費	177	182	△5

2. 2022年3月期 連結決算の通期見通し

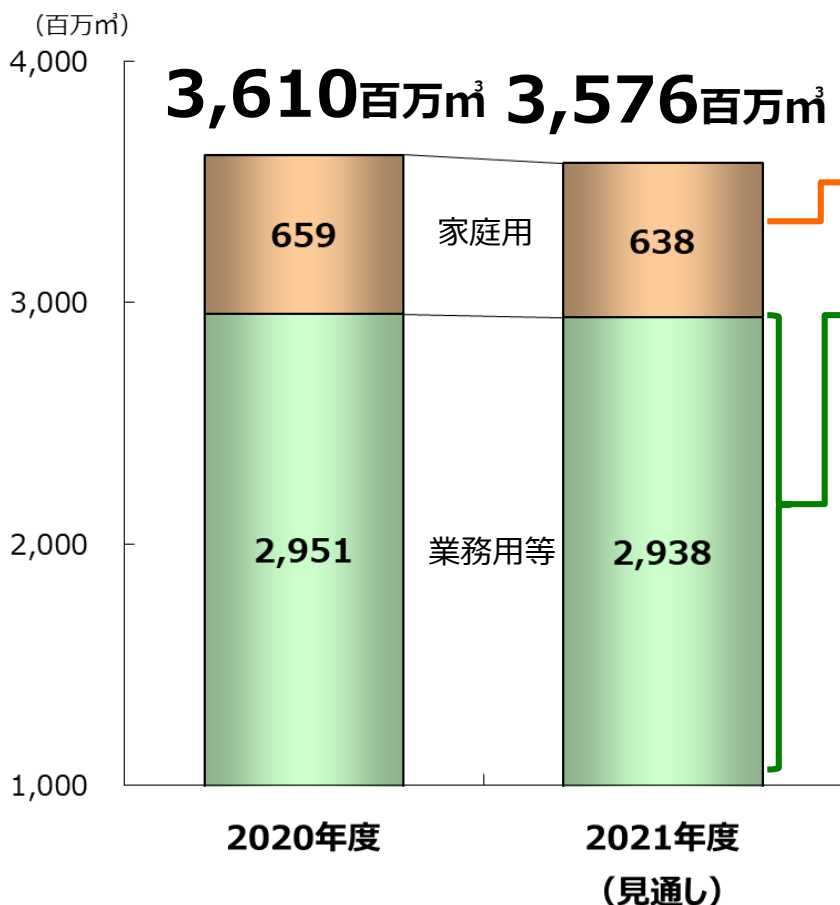
(1) まとめ



- 都市ガス販売量は対前年0.9%減の3,576百万m³、LPG販売量は同6.5%増の492千トン、電力販売量は同24.0%増の19.9億kWhの想定
 - 10月以降の原油価格75ドル/バレル、為替レート110円/ドルの前提のもと、売上高は対前年10.4%増の4,800億円、経常利益は対前年18.8%減の135億円の計画
 - 前回公表値からの変更点
 - ・都市ガス販売量 3,648百万m³→3,576百万m³
 - ・原油価格 65ドル/バレル→75ドル/バレル
 - ・売上高 4,600億円→4,800億円
- ※利益見通しは変更なし

2. 2022年3月期 連結決算の通期見通し (2) お客さま数・販売量

取付メーター数 2,533千件 2,551千件 (+0.7%)



都市ガス

△34百万m³ △0.9%

家庭用

△21百万m³ △3.2%

業務用等

△13百万m³ △0.5%

L P G

お客さま数※ 604千件 : +10千件 (+1.7%)

※配送受託件数含む

販売量 492千トン : +30千トン (+6.5%)

電気

お客さま数 514千件 : +76千件 (+17.4%)

販売量 19.9億kWh : +3.8億kWh (+24.0%)

平均気温	17.0℃	16.5℃	△0.5℃
------	-------	-------	-------

2. 2022年3月期 連結決算の通期見通し

(3) 都市ガス販売量増減内訳（対前回計画）



- 業務用等において、上期実績が計画を下回ったことを踏まえ、下期も上期と同程度のマイナスを反映。全体では△72百万m³下方修正。

	今回見通し	前回見通し	増減
家庭用	638 (△3.2%)	634 (△3.8%)	+ 4
業務用等	2,938 (△0.5%)	3,014 (+2.1%)	△76
計	3,576 (△0.9%)	3,648 (+1.0%)	△72

(注) 下段の()内は対前年増減率

2. 2022年3月期 連結決算の通期見通し (4) 収支状況等

単位：億円

	2022.3期 見通し	2021.3期 実績	増減	増減率
売上高	4,800	4,347	452	10.4%
経常利益	135	166	△31	△18.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	90	85	4	4.7%
設備投資	485	343	142	41.4%
減価償却費	374	374	△0	△0.0%

【前提】 (単位：ドル/バレル、円/ドル) 【感応度(年間)】

	2022.3期	2021.3期	増減		原材料費	ガス粗利
原油価格	72.6	43.4	29.2	原油価格+1ドル/バレル	+9億円	△1.5億円
為替レート	109.9	106.1	3.8	為替レート +1円/ドル	+11億円	△2億円

※10月以降の前提は、原油価格75ドル/バレル、為替レート110円/ドル

2. 2022年3月期 連結決算の通期見通し (5) 経常利益 増減要因 (対前年)

経常利益 (166億円⇒135億円) △ 31億円

■ **ガス販売量の影響 △ 10億円**

■ **スライドタイムラグの影響 △ 175億円**

(2021.3期 + 30億円 ⇒ 2022.3期 △ 145億円)

■ **原材料在庫による受払差の影響 + 45億円**

(2021.3期 △ 15億円 ⇒ 2022.3期 + 30億円)

■ **電気事業収支 + 55億円**

■ **固定費の減等 + 54億円**

2. 2022年3月期 連結決算の通期見通し

(6) 経常利益 増減要因 (対前回計画)

経常利益 (135億円⇒135億円) ± 0億円

■ ガス販売量の影響 △ 10億円

■ スライドタイムラグの影響 △ 80億円

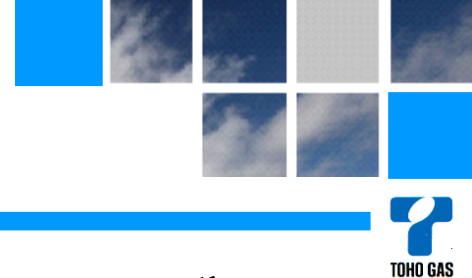
(1Q末時点計画 △65億円 ⇒ 今回計画 △145億円)

■ 原材料在庫による受払差の影響 + 20億円

(1Q末時点計画 + 10億円 ⇒ 今回計画 + 30億円)

■ 固定費の減等 + 70億円

<参考1>「カーボンニュートラルへの挑戦」に関する最近の取り組み事例



- 2021年7月に「東邦ガスグループ 2050年カーボンニュートラルへの挑戦」を公表し、その実現に向けた取り組みを着実に進めています。

事例

1 カーボンニュートラルなエネルギーの供給

- デンソー、アイシン他へのカーボンニュートラルな都市ガスの供給開始 (7/20、10/15)
- 愛知銀行本店のエネルギーをカーボンニュートラル化 (9/30)
- ファミリーマートの燃料電池トラックへCO₂フリー水素を供給 (10/26)



事例

2 再生可能エネルギー電源の拡大

- 八代、唐津、田原の木質バイオマス発電所を開発 (3/16、8/31、10/27)
- 中部日本放送他との木質バイオマス発電事業に関する協業 (10/14)



バイオマス発電

事例

3 カーボンニュートラル実現に向けた他社との協業

- アイシンとの水素燃焼技術の共同実験開始 (6/24)
- 豊田通商とのバイオガスなどの利用拡大に向けた協業 (8/16)

注：（ ）内はプレスリリース日付

<参考2> 自己株式の取得

■ 自己株取得

上限50万株、20億円の取得を決議（10/29）

〔株主還元方針〕

- 安定配当を基本
- 自己株取得・消却を状況に応じて機動的に実施

<参考> 自己株取得実績

単位：億円

年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021 (計画)
連結当期純利益	190	430	177	180	148	162	85	90
年間配当額	51	54	53	55	58	58	58	58
[1株当り配当]	[47.5円]	[50円]	[50円]	[52.5円]	[55円]	[55円]	[55円]	[55円]
自己株取得	29	45	29	-	29	-	-	※ (20)
株主還元 計	80	99	82	55	87	58	58	78

※今回計画

<参考3> 中期経営計画目標の進捗

		2019年度	2020年度	2021年度 (計画)		中計目標 2021年度
天然ガス	お客さま数※1	251万件	253万件	255万件		255万件
	販売量※2	38.8億m ³	37.0億m ³	36.7億m ³		41億m ³
L P G	お客さま数※3	58.9万件	59.4万件	60.4万件		59万件
	販売量	48.6万トン	46.2万トン	49.2万トン		53.5万トン
電気	お客さま数	33.5万件	43.8万件	51.4万件		30万件
	販売量	9.9億kWh	16.0億kWh	19.9億kWh		10億kWh

※1 取付メーター数 ※2 L N G販売分を含む ※3 配送受託件数を含む

		2019年度	2020年度	2021年度 (計画)		中計目標 2019～21年度
営業キャッシュフロー		683億円	643億円	280億円 (累計1,606億円)		累計1,600億円以上
都市ガス事業投資		277億円	277億円	350億円 (累計904億円)		累計800億円以上
成長事業投資		207億円	167億円	340億円 (累計714億円)		累計600億円以上
R O A		2.9%	1.5%	1.5%程度		平均 3%以上